令和８年度　第１回　草津市基盤施設指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和８年１０月２６日（月）	開催時間	午後５時００分から 午後６時１０分まで
出 席 者	委員４名、施設担当職員４名、事務局６名、申請者		
傍 聴 者	７名		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めることについて 「ロクハ公園／ロクハ公園駐車場／児童遊園その他都市公園」の指定管理者の候補者の選定		

１　開会
２　委員・事務局の紹介
３　「ロクハ公園／ロクハ公園駐車場／児童遊園その他都市公園」の指定管理者の候補者の選定【公募：１者】
・担当課より施設概要等説明
・申請者プレゼンテーション（蔦井・日本水泳振興会協同企業体）
・質疑応答
・審査・採決（非公開）
４　事務連絡
５　閉会

◆令和９年３月３１日で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体＜蔦井・日本水泳振興会協同企業体（以下「企業体」という。）＞が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

１ 担当課説明および質疑応答

施設概要や評価のポイント等について説明

◆担当課説明：略

（以下　質疑応答）

＜委員（以下「委」という。）＞：ロクハ公園に隣接しているロクハ荘は、今回指定管理施設の対象から外れているという理解でよいか。

＜担当課（以下「担」という。）＞：おっしゃるとおりである。

＜委＞：公園全体の管理について今回審査することになるが、ロクハ公園とロクハ荘の管理が重なる部分や、調整が必要な部分は特に無いと考えて問題ないか。

＜担＞：駐車場はロクハ公園とロクハ荘で兼用しているので、利用に当たっては、調整が必要な部分がある。

＜委＞：指定期間は、令和９年４月１日から令和１２年３月３１日までの３年間とのことだが、このうち、ロクハ公園プールの営業は何年間あるのか。何年度に閉鎖することになるのか。

＜担＞：令和９年度および令和１０年度の２年間のみプールの営業を行い、令和１１年度は閉鎖することになる。指定期間３年間のうち、最初の２年間はプールを営業し、最後の１年間は閉鎖することになる。

＜委＞：プールは夏のみ営業されると思うので、実質的には令和１０年の夏に終わるという理解でよいか。

＜担＞：おっしゃるとおりである。

２　申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆蔦井・日本水泳振興会協同企業体による申請内容の説明：略

（以下　質疑応答）

＜委＞：ロクハ公園プールは、地域の方々や周辺の方々に非常に愛されてきた施設であり、このプールで遊んだ子どもが親になって、場合によってはお孫さんがおられるような、非常に幅広い世代に愛されてきた施設だと思う。まだ先のことではあるが、この施設を閉鎖することについて、何かメモリアルイベントといったことを考えているか。他自治体（他施設）での経験等があれば、それも併せて教えて欲しい。

＜企業体＞：ＰＰＰ／ＰＦＩ事業としてだが、各務原市や小牧市においてＰａｒｋ－ＰＦＩ制度を活用して公園を整備させていただいた経験がある。オープニングイベントではあるが、各務原市では、ＢＭＸパークというアーバンスポーツの施設があり、このコースを監修した清水一輝選手というオフロードの選手の呼びかけで、ＢＭＸパークの無料走行会のようなイベントを実施させていただいた。また、地域の方々を巻き込むという観点から、各務原市の航空自衛隊にある太鼓隊の方たちに参加いただいて、オープニングのＢＧＭを彩っていただいた。

小牧市では、地元の学校関係の方々に演奏会を実施いただき、音楽を奏でていただいた

り、元々その場にあった桜の木を切って、新たに別の場所に植えたり等、今まで公園にあったものを、後世に繋ぐというような催しを実施した。

また、今年、福岡県にある市民プールの取り壊しに伴い実施したイベントでは、プールの水を全部抜いて、プールの槽内に思い出のメッセージを記入したり、プールを背景に写真撮影を行ったり等の催しを実施した。

その他にも、オリンピック選手を招いての講演会や実技の指導、地元の水泳協会の若手選手たちによる子ども向けのイベントを行った実績もある。加えて、近年川や海での水難事故が多発しているため、着衣水泳の体験会を開催するなど、そういう点での催しも実施してきた経験がある。

我々も、ロクハ公園プールの今までの想いとか、そういったものを引き継ぐことができるよう、何か催しを行いたいと考えている。

＜委＞：指定管理施設には、ロクハ公園以外にもかなりの公園があると思うが、その点については何か取組を考えているか。

＜企業体＞：申請書にも一部記載させていただいたが、市民通報システムというものを導入しようと考えている。今回、ロクハ公園以外に３００を超える児童遊園その他都市公園があるため、全てをスタッフで管理し切るというのは非常に非効率だと考えている。それぞれの公園を一番よく知っておられるのは利用者だと思うので、そういった方々が我々に声を届けやすい環境を整備したい。どの公園でどのような不具合が生じているのかを、スマートフォンで簡単にアンケートのような形で意見を言えるようなシステムを考えている。全ての公園の看板にＱＲコードを付けて、市民の方々と我々が協働して公園全体を見ていくというシステムを新たに構築していきたいと考えている。

＜委＞今のロクハ公園の問題点を踏まえて、指定管理者が御社に変わった場合、どのような変化が生まれるのかお聞きしたい。また、みどりのサポート拠点やゼロカーボンシティの取組などが記載されているが、なかなか全て実施するのは難しいと思う。この事業は確実に実施できるとかそういったものがあれば教えてほしい。

＜企業体＞基本的な管理自体はそこまで大きく変わるものではないが、我々は、きめ細やかな体制・きめ細やかな対応を目指している。これだけ規模の大きい公園、複数の公園になると、やはり手が届かない部分がたくさん出てくると思う。日頃から施設を歩いていると、利用者にとっては不都合な部分も、スタッフにとってはどうしても平凡な光景に見えてしまい、なかなか改善ができないという環境が生まれやすいと思っている。そのため、市民通報システムというものを用いて、色々なお声を集めることで、そういった気づきにくい部分も全て取り込んで、それを現場に返して改善していくという循環を作っていきたい。大きく変わるっていう部分ではないかもしれないが、小さな積み重ねでロクハ公園等がより良いものになるよう努めていく。

また、みどりのサポート拠点に関して言うと、まず花苗の配布については、我々が管理している三重県の桑名市において毎年実施をさせていただいている。グリーンカーテン等も毎年実施させていただいているので、このような、我々に実績があるものに関しては全て実施可能と考えている。一方で、例えば巣箱の設置とかそういったものはもちろん草津市との協議が必要になってくるため、協議が必要なものに関しては協議の上判断という形になるが、基本的には概ねできることを提案させていただいているので、なるべく全て実施する方向で進めていきたい。

＜委＞ロクハ公園の視察をさせていただいた経験があるので、その時も感じたのだが、ロクハ公園はかなり大きくて、端が見えないぐらい広く、ものすごく管理が大変だろうと思う。これぐらいの規模の公園は、他でも管理されているのか。

＜企業体＞ロクハ公園は、我々が管理するどの公園よりも一番大きい公園であるが、桑名市の公園で言うと、ロクハ公園の 7 割ぐらいの大きさの公園が２か所と、児童遊園その他都市公園に該当するような小さな公園を６か所管理している。そのため、規模的な面でも、我々に管理できないことは全くないと感じている。

＜委＞持続的・継続的にこのような事業を展開していくとなると、利用者のことを考えるのはもちろん大切だが、同時に、働く側のことも考えることが大切だと思う。御社は色々と研修や人材育成等かなり綿密な計画を練っておられると思うが、日本全国高齢化が進む中で、どうしても高齢の方の働き手が多くなってくる。このことについて、どういった課題があり、御社ではどのようなフォローをされているのか、具体的に教えて欲しい。

＜企業体＞高齢になると、どうしても我々が伝えたいことがうまく伝わらなかったり、伝わっても上手く対応できなかったりすることが増えてくる。我々は、草津駅西口自転車駐車場等の管理もさせていただいているが、そちらでも同じような課題があった。そこで実施している対策としては、毎月１回、我々本社の社員と現地のリーダーまたは幹部メンバー何名かとすり合わせをするような会議の場を設けている。そこで、それぞれの思いや考え方などを共有し、毎月すり合わせをして、それをまた落とし込んでいくということを繰り返している。そうすると、皆さんできることがある程度固まってくるので、そういったできることをまず決めて一つ一つ実施していくというような対策をとらせていただいている。

＜委＞今回、市役所の庁内に事務員を常駐させるという話があったが、これは御社からの提案か。

＜企業体＞仕様書にその旨の記載があり、弊社が雇用した職員を市役所に常駐させるというものである。

３　採決

各委員による採点の結果、最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成が得られたことから、指定管理者として「蔦井・日本水泳振興会協同企業体」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。